



「総合的な学習の時間」サポートプログラム 一覧

サポートプログラムは、児童・生徒の学齢に合わせてプログラムを提供しています。
地域・保護者の方の参加や2つ以上のプログラムを組み合わせることも可能です。



1. 講座提供プログラム

プログラム名	時間 (目安時間)	内容	
救急法講習	45分～	①人形やAEDを使った心肺蘇生を学習する。 ②三角巾を使用した手当の方法を学習する。 ③学校でのケガや熱中症などの処置の学習を学習する。	
防災学習	45分～	①ぼうさいまちがいさがし「きけん はっけん！」 (※幼稚園・保育所向け) 園の教室の中、園庭、普段の町や、様々な災害など、間違い探しを楽しみながら学習する。 ②防災教育教材「まもるいのちひろめるぼうさい」 「日赤×現場教員」によって作成された防災教育教材を活用したグループワーク。 ③『災害への備え(地震/津波/大雨・土砂災害)』 自然災害がもたらす様々な被害から、いのちを守り、その後の暮らしをつなぐために、普段から備えること(自助・共助)の重要性を学習する。	
災害図上訓練(DIG)	60～90分	学校や地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所を把握・理解し、個人や地域で予め行うべきことを検討する。	
災害エスノグラフィー	60～90分	大規模災害の被災者の読み物(経験談)を通じて、過去の災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。	
家具安全対策ゲーム(KAG)	30分	自宅や学校(園)の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や家具の安全対策の必要性を把握・理解し、身の安全を守る方法について行うべきことを検討する。	
ひなんじょ たいけん ※中学生・高校生対象	90分	大地震における避難所生活の一部をイメージした「避難所をつくるカードゲーム」を通じて、避難所での「避難者の目線で心がける事柄」を検討する。	
災害時の食事体験	60分～	①炊き出し体験 ※実費負担 特殊な袋を使い、災害時の非常炊き出しを体験する。 ②防災食(アルファ米等)体験 家庭や学校(園)で備蓄する防災食を作成し、災害時の食事について学習する。	
災害時の救護体験	30分～	災害発生時の救援活動について体験・学習する。	
水の事故防止について (着衣泳)	45分～	自分が溺れないための技術(着衣泳体験と衣類等の活用)、泳がずに救助する方法や水の事故を防止するための方法を学習する。	

プログラム名	時間 (目安時間)	内容	
高齢者支援について	45分～	介護が必要な人のお世話の仕方の知識と技術を学習する。 また、車イスの介助方法や高齢者の疑似体験等を学習する。	
乳幼児の事故予防について	45分～	乳幼児に起こりやすい病気の対応と事故の予防や応急手当を学習する。	
国際理解・募金の話	45分～	世界で生きる子どもたちの様子を学習する。 義援金・救援金や青少年赤十字1円玉募金などの募金活動で集めた募金の使われ方を学習する。 ※募金の受取式も実施可能。	
赤十字の話	15分～	赤十字の成り立ちや日本赤十字社の活動について学習する。	
加盟登録式	10分～	新たにメンバーとなった青少年赤十字メンバーへ意識づけや活動意欲を高めるための講話と、JRCワッペン（胸章）の贈呈を行う。 ※朝礼や全校集会などの時間を活用して実施することも可能。	
献血の話	30分～	献血で集められた血液の使われ方について理解し、献血の必要性について学習する。	

2. 見学プログラム

プログラム名	時間	内容	
日本赤十字社大分県支部	45分～	大分県における赤十字の拠点である日本赤十字社大分県支部の緊急車両、救護資機材、救援物資の見学のほか、様々な体験を行う。	
大分県赤十字血液センター	45分～	県内の医療機関に輸血用血液を供給している血液センターの見学、献血で集められた血液がどのように使われているのかを学習する。	

講師派遣費用等は無料です。※一部実費負担。
詳しくは、日本赤十字社大分県支部(097-534-2237)までご連絡ください。

